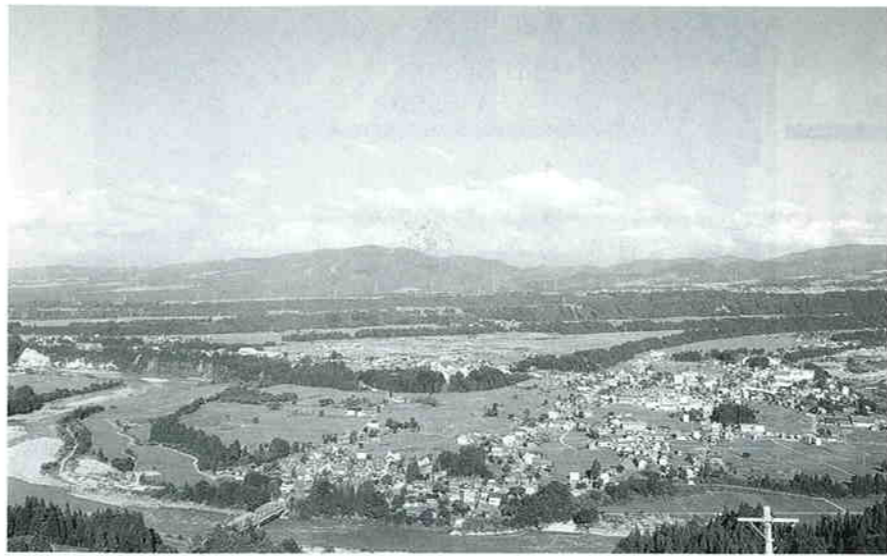


# 温泉と自然の宝庫

## 新潟県津南町と友好交流都市を締結

狭山市では、国内で初めての友好交流都市を、1月30日(木)、名水の里として有名な新潟県中魚沼郡津南町と調印しました。自然環境に恵まれ、当市から関越道を利用して車で約3時間と利便性もよい津南町。これから、文化・スポーツ・観光などを通して幅広い市民交流が期待されています。

新潟県中魚沼郡津南町全景



昨年11月10日(日)に開催されたさやま大茶会は、皆様のご記憶にも新しいことと思います。この大茶会で、全国名水百選の一つに選ばれている津南町の竜ヶ窪の名水が使用され、狭山の銘茶と津南町の名水がめぐり合い、素敵なハーモニーを奏でました。この津南町との友好交流については、市内の各種団体から選出された15名の委員で構成する姉妹都市検討委員会からの提言と入間中学校の林間学校や市民スキー大会を通してすでに市民交流があることなどから、調印のはこびとなったものです。

### 調印式を迎えて

調印式では、町田潤一狭山市長から津南町は、豊かな自然と山々の風景が調和し、なによりも町民の皆さんが元気で明るい。狭山市民の第二のふるさとなるだろう。両市町の

特徴を活かし、市町民を中心とした末永い交流を図り、市民福祉の向上発展につなげていきたい。」とあいさつし、小林三喜男津南町長からも「わが町にないものが狭山市にあり、狭山市にないものが津南町にはある。この調印により友好交流の夢のかけ橋がかけられた。町民あげて歓迎している。」と喜びを表明していました。

### 市民交流を通して第二のふるさとして

津南町は、四季折々、自然や産物を通して豊かな賑わいのあるまちです。



1月30日、狭山市役所にて調印

そんな津南町に家族で訪れてみたいと思われるかたも多いことでしょう。今後、両市町民を中心とした友好的な相互交流を推進しますが、当市の恒例事業として開催する「さやま大茶会」で銘茶と名水が出会ったように両市町の特徴を活かした観光物産展、雪や狭山茶をテーマとした交流事業など、さまざまな市民交流を計画しています。津南町のかたがたとの交流は、市民の皆さんが主役です。市では、交流支援の推進として「市民交流事業助成制度」を検討しています。個人で、または所属する団体で、どんな交流ができるか考えてみてください。具体的な事業内容などは、これからの広報で紹介していきますので、ご期待ください。



熱い握手で今後の交流を誓いました

### 名水の里

昭和60年、全国名水百選に選ばれた竜ヶ窪の池は、神秘的な森の中にあります。1.2畝の池のいたるところから湧き出す水は、1日4万3千トンにもおよび池の水は1日で全部いれかわってしまいうためにけっして濁ることがないといわれています。



竜ヶ窪の池



沖ノ原ひまわり畑

### 夏

河岸段丘の町 信濃川沿いに位置する津南町は、河岸段丘とよばれる特異な地形になっています。狭山市にも人間川による河岸段丘がありますが、津南の河岸段丘は、高さや広がり、九段で形成されていることなどから日本最大規模といわれています。



秋山郷

### 秋

温泉の町 津南町の信濃川沿いに湧く温泉は、主に弱アルカリ単純泉で肌がツルツルになります。中津川沿いの温泉は切り傷、やけどなどに効果がありません。また、段丘上の温泉は、ナトリウム塩化物温泉というように大きく分けて3種類もあり、それぞれに楽しめます。

# 津南

## 名水と温泉と雪の町

新潟県中魚沼郡津南町は、新潟県の最南端にあり西から北東に貫流する大河信濃川とこれに合流する志久見川、中津川、清津川によって形成された河岸段丘に発達した町で、昭和30年1月に6か村の合併により町が誕生しました。人口は、約1万3千人、面積は狭山市の約3.5倍の170.22km<sup>2</sup>で、最高積雪量は262cmもあり、スキー場が2か所、たくさんある温泉も湧くという観光と農業の町です。また、皆さんに大変人気のある中魚沼産コシヒカリの産地としても有名で、山ぶどう100%の縄文ワインも絶品です。

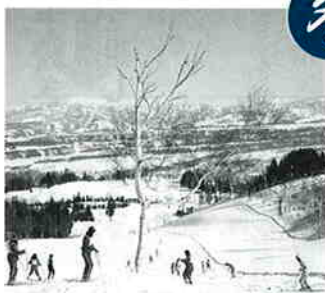


秋山郷明木の里露天風呂



●問い合わせ 国際文化課都市交流係へ内線(379)

ウィンタースポーツの里 面積40万m<sup>2</sup>と全国屈指の規模を誇るマウンテンパーク津南カガンスキー場やグリーンピア津南スキー場のスキーやスノーボードも楽しみの一つです。



マウンテンパーク津南カガンスキー場

### 冬